

みえ県議会 だより

NO. 194

令和4年 (2022年) 12月1日



七里御浜ふれあいビーチ (御浜町)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL http://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook) ▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



～「強じんな美し国ビジョンみえ」および「みえ元気プラン」などについて議論～

令和4年三重県議会定例会 9月定例会会議

おおむね10年先を見据えた県政運営の指針となる「強じんな美し国ビジョンみえ」と、そのビジョンの基本理念を実現するための施策の取組方向を示す中期の戦略計画「みえ元気プラン」などを審議・可決しました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、テレビ広報番組「三重県議会ハイライト」のお知らせ、三重県議会定例会 今後の日程 (予定)
- 2～3面 代表質問、一般質問
- 4面 一般質問、用語解説、三重県議会インターンシップ実習生を受け入れました、みえ県議会出前講座を実施しました、令和4年度第1回三重県議会議員勉強会を開催、2022年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」投票開始のお知らせ

審議結果

可決した議員提出議案
○三重県議会会議規則の一部を改正する規則案
ほか2件

可決した議案

○令和4年度三重県一般会計補正予算(第3号)
：新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のさらなる推進、原油価格・物価高騰の影響を受けている事業者等の支援などのための経費約133億円

○条例
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案 ほか2件

○その他議案
「強じんな美し国ビジョンみえ」及び「みえ元気プラン」の策定について ほか4件

○人事案件(同意)
○土地利用審査委員の選任につき同意を得るについて

採択した企業会計決算

- 令和3年度三重県水道事業会計決算
- 令和3年度三重県工業用水道事業会計決算
- 令和3年度三重県電気事業会計決算
- 令和3年度三重県病院事業会計決算
- 令和3年度三重県流域下水道事業会計決算

採択した請願

○自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求めることについて
○子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めることについて
○教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めることについて
○防災対策の充実を求めることについて
○義務教育費国庫負担制度の充実を求めることについて
○誰もが、家庭の経済事情に関わらず学ぶことのできる教育環境整備、三重県独自のさらなる学級編制基準および教職員配置基準の改善をすすめることにより、すべての子どもたちが大切にされる安全・安心の三重の教育の実現を求めることについて

不採択とした請願

○25人下限条件をなくし、真の30人学級実現を求めることについて

可決した意見書案

○子どもの貧困対策の推進と就学及び修学支援に関する制度の拡充を求める意見書案
○子どもたちの豊かな学びを保障するための教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を求める意見書案
○学校における防災対策の充実を求める意見書案
○義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書案
○自動車関係諸税等の見直しを求める意見書案
○地方財政の充実及び強化を求める意見書案

可決した決議案

○北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議案

審議結果と主な開催実績

否決した決議案

○小林貴虎議員に対する辞職勧告決議案
○三重県議会前野和美議長に対する不信任決議案
※議案の概要、議員別の賛否等の状況などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

主な開催実績

9月

15日 本会議
議提議案3件上程・可決、議案9件上程、議案5件上程

16日 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会
条例案素案の検討について 他

21日 本会議
議案に関する質疑(2人)、総務地域連携デジタル社会推進常任委員会議案の審査

26日 本会議
一般質問(5人)
花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会
条例案素案の検討について 他

28日 本会議
一般質問(4人)、議案1件可決

30日 本会議
一般質問(4人)

10月

3日 予算決算常任委員会
議案の審査

5日、6日、7日、11日 各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査 他

13日 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会
条例案素案の検討について 他

14日 本会議
代表質問(3人)
予算決算常任委員会
議案の審査、決算認定議案の審査

19日 本会議
議案8件可決、認定議案5件認定、人事同意議案1件上程・同意、請願6件採択、議案3件上程・1件可決・2件否決、議案1件上程・可決、認定議案12件上程

予算決算常任委員会5分科会
議案の審査
議案の審査

※この他にも、議会運営委員会、議会改革推進会議役員会、代表者会議、全員協議会、議案聴取会、広報協議会など、さまざまな会議を開催しました。
※議員の各質問は、2ページ以降に掲載しています。
本会議等はインターネット中継や録画配信でもご覧いただけます。

テレビ広報番組「三重県議会ハイライト」のお知らせ

各常任委員会等の県内調査や委員会審議の様子、委員長インタビューなどをまとめたテレビ広報番組「三重県議会ハイライト」委員会活動等の紹介を三重テレビで放送します。ぜひご覧ください。

放送日時

①令和4年12月21日(水)
午後7時～午後7時30分

総務地域連携デジタル社会推進常任委員会、戦略企画雇用経済常任委員会、環境生活農林水産常任委員会の活動等の紹介

②令和4年12月22日(木)
午後7時～午後7時30分

医療保健子ども福祉病院常任委員会、防災県土整備企業常任委員会、教育警察常任委員会の活動等の紹介

③令和4年12月24日(土)
午後6時30分～午後7時

予算決算常任委員会、花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会の活動等の紹介や、県議会における広聴広報活動の取り組みの紹介等

三重県議会定例会 今後の日程(予定)

令和4年12月から令和5年2月までの日程(予定)は次のとおりです

12月1日 本会議(一般質問) TV

5日 本会議(一般質問) TV

6日 予算決算常任委員会 TV

7日 予算決算常任委員会 TV

8日、9日、12日、13日 各常任委員会・分科会

16日 予算決算常任委員会

19日 代表者会議

20日 議会運営委員会

1月18日 本会議(開会)

2月1日 代表者会議

8日 議会運営委員会

13日 全員協議会

15日 本会議(議案上程)

21日 本会議(代表質問・議案質疑)

24日 本会議(一般質問)

28日 本会議(一般質問)

テレビ中継 インターネット中継

※この日程は、令和4年11月5日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。

三重県議会では、令和4年6月8日から、議場内の演壇で発言する際には、マスクを外すことも可能としました。演壇でのマスクの着脱は、それぞれの議員が判断しています。

代表質問

三重県河川整備戦略の見直しと河川整備計画の更なる推進について

日沖 正信 議員
(新政みえ / いなべ市・員弁郡選出)

問

近年、記録的な豪雨が各地で頻発しており、災害を防ぐために河川整備の更なる推進が求められています。県は、平成18年に15年間の計画として「三重県河川整備戦略」を策定し、計画的に河川整備を進めてきました。が、これまでの取り組みの検証も踏まえて、今後どのように取り組むのでしょうか。



また、「河川整備基本方針」に沿って具体的な河川整備の内容を定める「河川整備計画」について、現在の策定状況と今後についてお聞かせください。

答

県では、令和4年3月までに、流域のあらゆる関係者で取り組む「①流域治水プロジェクト」を、水系・圏域ごとに策定しました。今後は、このプロジェクトに基づき、ハード対策やソフト対策などを計画的に進めます。

また、河川整備計画については、県管理の全河川80水系のうち、27水系で策定を完了しており、残り53水系については、隣接する複数水系で一体的に策定することが可能となったことを踏まえ、その手法の活用を検討しながら早急に策定を進めます。

その他の質問事項
○令和5年度の行政運営について
○人口減少対策について ほか



▲代表質問 (日沖正信 議員)

平和教育・啓発について

小林 正人 議員
(自由民主党 / 鈴鹿市選出)

問

2022年2月に勃発したウクライナ戦争だけでなく、世界各地で紛争が続いています。このことを対岸の火事と思わずに、平和の尊さを今一度、個人が再認識し、恒久平和の追求につながるためには、平和教育を更に充実させる必要があると考えます。そこで、平和教育について、県ではどのように取り組んでいるのか、お聞かせください。

また、昨今、日本周辺においても安全確保上の不安を抱く動きがみられますが、知事の平和への認識をお聞かせください。

答

平和教育については、教育基本法に示される教育の理念の下、学習指導要領に基づいて行っており、平和の大切さや命の尊さを考え、社会の形成者として自覚と責任を持ち、行動できる力を養っています。



また、平和については、幸せな県民生活を送るための前提であると認識しており、平和維持のためには、戦争の記憶を風化させないことや、人と人とのきめ細かな交流を行うことが大切であると考えています。

その他の質問事項
○児童虐待と子育て世帯の養育者支援について
○多様な専門職・人材の確保と登用について ほか



▲代表質問 (小林正人 議員)

リニア中央新幹線三重県駅開業を活かした地域公共交通の活性化について

長田 隆尚 議員
(草莽 / 亀山市選出)

問

リニア中央新幹線三重県駅と県土に伸びる在来鉄道をうまく連携させることは、三重県駅の利便性、利用率を高める大切な要素です。県は、令和5年度に「三重県地域公共交通計画(仮称)」を策定する予定ですが、



幹線三重県駅の開業を活かして、在来鉄道やバス等を含めた地域公共交通全体の活性化を図ることが重要だと考えます。地域公共交通の活性化について、知事の考えをお聞かせください。

答

人口が減少する中で公共交通を維持していくことは簡単なことではありません。「三重県地域公共交通計画(仮称)」は、地域公共交通の活性化を図るために、あらゆる取り組みを総動員したものにしていくと考えています。リニア中央新幹線と在来鉄道・バス等の両方が活性化するためには、駅位置や、その周辺開発をどうしていくかも大事であると考えますので、しっかりと検討を進めていきます。

その他の質問事項
○令和5年度当初予算調製方針について
○「強じんな美し国」ビジョンみえ」における「成長のコーリドー(回廊)」に込めた想いについて ほか



▲代表質問 (長田隆尚 議員)

JR関西本線(亀山)加茂間)の利便性向上を

稲森 稔尚 議員
(草の根運動いが / 伊賀市選出)

問

利便性向上による利用者の増加に向け、鉄道施設への倒木を防止するための伐採など、事前対策の強化により運休を減らすことや、廃止された「急行かすが」のように、名古屋と関西方面を結ぶ直通列車を事実実験として運行することを提案します。

「よく止まる、不便な乗り物」とのイメージの刷新が必要だと考えますがいかがですか。

答

利便性の向上に向けた取り組みは、沿線自治体や住民の皆さんから、さまざまなご意見をいただいています。今後、「関西本線活性化利用促進三重県会議」の中で移動実態やニーズ、採算性なども含め検討を行い、JR西日本や沿線自治体等と調整を行った上で、実証事業など実現可能なものについて取り組んでいきます。



JR 関西本線 (柘植～新堂間)

その他の質問事項
○統一教会と県との接点について ほか



▲一般質問 (稲森稔尚 議員)

若者のチカラで地域防災力の向上をめざして

中瀬古初美 議員
(新政みえ / 松阪市選出)

問

県が5月に募集した「みえ学生防災啓発サポーター」養成講座について、みえ高校生県議会防災について質問された2校に話を伺いました。すると、「募集を知らなかった」「期末テストの時期で参加は難しい」「遠隔地であり参加のハードルが高い」といった声があがりました。どの地域からでも、環境に左右されることなく受講できる仕組みづくりが重要だと考えますが、いかがですか。



みえ学生防災啓発サポーター養成講座の様子

答

今回の養成講座の募集にあたっては、ホームページでの発信等と併せて、高等学校へは募集チラシを配付しました。今後開催する場合は、高等学校への周知に、より確実に期すとともに、開催場所・時期について、学校関係者等のご意見をしっかりと確認しながら進めていきます。

その他の質問事項
○一般県道蓮峽線バイパス工事現場の法面崩落について
○人口減少対策における南三重の連携について ほか



▲一般質問 (中瀬古初美 議員)

地元住民の不安や不満の払拭こそが人口減少対策となる

青木 謙順 議員
(自由民主党 / 津市選出)

問

津市内に管理型最終処分場を設置する計画が公表されて以降、地元では土砂崩れ等の自然災害が発生した場合や、水道水源および農業等への影響を懸念する多くの声が寄せられるなど、根強い反対があります。産業廃棄物処理施設の設置、建設に対する地域住民の不安解消を図るため、県ではどのように取り組んでいるのかお聞かせください。

答

事業者から提出された環境影響評価書法書に対する知事意見では「地域住民等と十分なコミュニケーションを図る等、不安の払拭及び不満の解消を行うこと」などを求めています。今後の環境影響評価手続きにおいても、周辺環境への影響が十分に低減されることも、地域の皆さんの不安の払拭および不満の解消がなされているか注視し、真摯に対応するよう事業者に求めています。




その他の質問事項
○魅力的な観光地づくりが人を呼び込み、移住を促進する
○林業人材の確保・育成のさらなる推進が持続可能な産業につながる



▲一般質問 (青木謙順 議員)

県道御衣野下野代線、四日市多度線の進捗状況とその効果について

倉本 崇弘 議員
(草莽) 桑名市・桑名郡選出



問 県道御衣野下野代線と四日市多度線の先には工業団地が存在しますが、両路線ともに狭隘な部分がある中で、工場にアクセスする大型車両が近隣の住宅地を通り抜けていくことが多くなっています。両路線を道路改良することで、工業団地の利便性を高め、住環境も改善できると考えますが、県の考えをお聞かせください。



答 県道御衣野下野代線と四日市多度線は、桑名市北部の工業団地と幹線道路を結ぶアクセス道路であるとともに生活道路としても重要な路線であり、現在は用地測量と用地買収を実施しています。両路線の整備については、引き続き桑名市や地元との協力を得ながら、早期の工事着手に向けて、事業を推進します。

その他の質問事項


- 資源高・物価高について
- 警備警備について

ほか



交通弱者対策について

中瀬 信之 議員
(新政みえ) 度会郡選出



問 公共交通が脆弱な地域では、車の運転免許証を返納した高齢者等の交通弱者にとって、移動することが大きなネックとなります。市町は、独自に地域交通への対策を実施していますが、多くの住民が、快適な移動や市町をまたいだ移動を望んでいます。県は、市町をまたいだ移動対策についてどのように考えているのかお聞かせください。

答 市町をまたいだ移動については、県は広域路線バス、市町は生活交通圏の路線バスの確保・維持という役割分担をふまえて取り組んでまいりました。また、県も参画する各地域公共交通会議等で検討を行い、市町をまたいだ運行をしている事例もあります。今後も、市町間における連携の取り組みを促進し、移動の機能強化を図ってまいります。



その他の質問事項


- 知事の観光政策の思いについて
- 来年度以降の選手強化対策について

ほか



道徳教育について

服部 富男 議員
(自由民主党) 三重郡選出



問 先日、病気で視力を失った男性が、バス通勤の際に地元の小学生たちに11年間にわたって支えられたという「小さい手のリレー」と呼ばれる話を聞きました。道徳教育においては、自分で考える力、心や人間力を育てる教育を大事にしていただきたいと感じるものでした。そこで、県が進める道徳教育について伺います。



答 小中学校の道徳教育では、学級でのグループ活動や幼児や高齢者など多様な人々と触れ合う機会を増やし、その体験を通して、他者を思いやる心の育成を図っています。今後も、相手の気持ちを想像し、その人の置かれた状況に心を配る人間性や、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性が育まれるよう、市町と連携して取り組んでまいります。

その他の質問事項

- 次世代モビリティ等の活用について
- 水田農業振興について

ほか



七里御浜海岸侵食について

谷川 孝栄 議員
(草莽) 熊野市・南牟婁郡選出



問 七里御浜海岸の侵食が著しく、その対策に毎年多額の予算が必要となっております。中でも井田海岸は待ったなしの状態です。今の鶴殿港ができて以降、浜の石は段々と小さくなり、その石が高波に乗って国道や住居に打ち付けています。このような熊野灘の大きな潮の流れによる自然災害への対応は、国の直轄事業化が必要と思えますが、県の考えをお聞かせください。



答 侵食対策として、波浪を低減させる人工リーフの整備と砂利浜の維持を図る養浜を併せて行っています。残事業が膨大であり多額の費用と年月を要することから、本年も5月に国へ直轄事業化を要望しました。今後も侵食対策を推進するとともに、早期の事業完成に向けた直轄事業化について国に働きかけを続けてまいります。

その他の質問事項

- 近畿自動車道紀勢線と紀伊半島アンカールートの進捗状況について
- 三重県大麻取扱者指導要領について

ほか

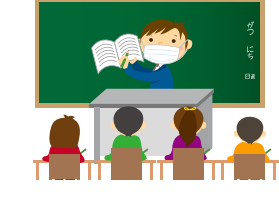


明日の「みえ」の教育について

田中 智也 議員
(新政みえ) 四日市市選出



問 国は、小学校高学年での教科担任制について、優先的な対象教科を外国語・理科・算数・体育とした上で導入を進める方針で、定数配置のための予算措置を行いました。学級担任制が主体となっていて、現状においても教員は不足していると思えますが、三重県での配置状況と、既に教科担任制を導入している学校の現状と課題についてお聞かせください。



答 県内の小学校では、全体の1割強となる42校で教科担任制の取り組みを進めており、市町や学校からは、学習に主体的に取り組む児童が増えたなどの効果を聞いています。一方で、担任以外の教員の配置が必要になりますので、今後も、引き続き国に対して必要な定数の拡充を要望してまいります。

その他の質問事項


- 「みえ」の経済活動を支える四日市港について
- 明日の「みえ」の芸術・文化について

ほか



国道260号道路改良事業について

村林 聡 議員
(自由民主党) 度会郡選出



問 南伊勢町を横断する国道260号は、船越バイパスが令和8年度に開通予定です。一方、東宮坂隧道は幅員が狭く大型車両がすれ違ふことができず、沿線の1市3町がそろって国へ予算要望を行うなど、改良に向けて地域の熱意が高まっています。そこで、東宮坂隧道の改良が今後どのように進められるのか、お伺いします。



答 現在は、老朽化が進むとともに耐震化が必要な東宮坂の架け替え工事を行っており、今年度中には新橋が開通する予定です。残る東宮坂隧道を含む区間については、来年度以降、調査設計に着手する予定であり、引き続き、引き続き用地取得や予算確保等について地元との協力を得ながら、国道260号の未改良区間の早期整備に努めてまいります。

その他の質問事項


- 総合的な視点からの持続可能な林業の実現
- 畜産業の飼料価格高騰対策について

ほか



情報のバリアフリー化、電話リレーサービスについて

小島 智子 議員
(新政みえ) 桑名市・桑名郡選出



問 令和2年、「聴覚障害者等による電話利用の円滑化に関する法律」が成立し、昨年7月から電話リレーサービスが公共インフラとして使えるようになりました。しかし、当事者を含め社会の認知が進んでいないなど、普及に向けて壁があるようです。今後このサービスを利用する方は少なくないと考えますが、どのように周知啓発をしているのか、県の考えをお聞かせください。



答 三重県における現在のサービス登録者数は、聴覚障がいのある方の2%程度にとどまっています。今後、三重県聴覚障害者支援センターにおいて個別相談を実施するなど、利用者登録を促進するとともに、広く県民に向けては、セミナーや出前授業などのさまざまな機会において周知啓発を図ります。

その他の質問事項

- 性暴力のない三重県に！
- 県民の力を課題解決の力に！



祇川の自然環境保全活動

西場 信行 議員
(自由民主党 / 多気郡選出)



問

祇川は、自然の土の堤防が続く豊かな生態系を有する川で、平成16年に県と流域3市町、住民、研究者が関わり「祇川環境保全協働ビジョン」を策定して以降、さまざまな活動が行われてきました。近年、祇川に生息するタナゴ類等が減少しています。県は、希少淡水魚貝類の生息数減少の原因究明に向けて、また、今後のビジョン推進に向けてどのように取り組むのか、お伺いします。

答

タナゴ類や二枚貝類の生息数減少の原因究明に向けては、地域の不安の解消につながる調査方法を検討した上で、地元関係者や市町と協議を行うとともに、専門家と連携しながら調査を進めていきます。また、ビジョンの推進にあたっては、県の関係部が連携し、地元の方々の要望を伺いながら対応していきます。



祇川

その他の質問事項

○J-クレジット制度における森林吸収クレジット

○史跡斎宮跡整備基本構想 ほか



▲一般質問 (西場信行 議員)

伊勢志摩の元気づくりについて

中村 進一 議員
(新政みえ / 伊勢市選出)



問

鳥羽市の離島である志島への架橋については、平成21年に三重県議会「離島架橋の早期実現」に関する請願を全会一致で採択していただき、私も離島身も離島架橋の実現に向けて強く要請してきました。今年度は、「三重県離島振興計画」の最終年度になりますが、新たな計画に離島架橋を実現すると明記していただきたい。知事の考えをお聞かせください。



架橋の整備には、多大な経費がかかります。7、8割の方が架橋に賛成しておられますが、中には架橋について心配されている方もおられます。新しい「三重県離島振興計画」の策定については、さまざまな方のご意見をお聞きしながら、皆さんの気持ちに寄り添って対応していきたいと考えています。

答

誰も取り残さない安心して暮らせる三重県を目指して

○地域から平和を訴える ほか



▲一般質問 (中村進一 議員)

用語解説

1 流域治水プロジェクト

気候変動等の影響により頻発化・激甚化する水災害による被害を軽減するため、これまで河川管理者が実施してきた河川改修等の治水対策に加え、ダムの事前放流や土地利用規制など、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策の全体像を示したものです。

2 電話リレーサービス

聴覚や発話に困難のある方(以下「聴覚障がい者等」という)と聴覚障がい者等以外の者との会話を、通訳オペレータが手話・文字と音声を通訳することにより電話で双方向につながるサービスのことで、令和3年7月1日から開始されています。

3 J-クレジット制度

省エネルギー設備の導入や適切な森林管理などの取り組みによるCO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を、売買可能な「クレジット」として国が認証する制度です。購入したクレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成や製品・サービスのカーボン・オフセットなどに活用できます。

三重県議会インターンシップ実習生を受け入れられました

県議会では、議会における監視機能の強化や政策立案の充実、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、平成21年度からインターンシップ実習生を受け入れていきます。今年度は、令和元年度以来3年ぶりに、三重大学大学院の学生を実習生として受け入れられました。

実習は、9月8日から22日までの10日間で行い、期間中は、会議の傍聴や議員との意見交換、議員提出条例の検討作業等の県議会事務局の業務体験などを通じて、県議会や議員の役割等について学んでいただきました。9月21日には、実習の成果を発表する報告会を開催し、「政策形成機能の強化によって県議会の存在意義を高める」というテーマのもと、県議会への提案をしていただきました。



報告会の様子

令和4年度第1回三重県議会議員勉強会を開催

10月3日、共愛学園前橋国際大学の学長・大森昭生さんを講師に、若者の県内定着に向けた大学の在り方と題して、第1回の議員勉強会を開催しました。

三重県では、大学進学時と卒業後の就職時に多くの若者が県外へ転出していることから、県内の高等教育環境を充実させ、三重県を担う人材を育成・確保することが必要とされています。

勉強会では、県内就職率が7割を超える共愛学園前橋国際大学の「グローバルな思考を持ちながら、地域に根差した人材育成」の取り組みを中心にお話いただきました。

また、大学を設置する場合、検討を行う重要なポイントとして、教職員・学習環境・地方創生といった観点でのアドバイスをいただき、今後の三重県における大学の在り方について考える機会となりました。



第1回議員勉強会の様子

みえ県議会出前講座を実施しました

県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う県民としての意識を育んでいただくことを目的に「みえ県議会出前講座」を実施しています。講座では、県内の小中学校や高等学校などに議員が出向いて「県議会の役割」等をテーマに授業を行います。皆さんからの質問にもお答えしています。

令和4年度はこれまでに、9月6日にいなべ市立治田小学校、9月7日に県立南伊勢高等学校(南勢校舎)で実施しました。参加した児童や生徒からは、「やっている事を、私達小学生の場合にたとえてくれたのが分かりやすかった。」「議会で行っていることを知れて、より選挙に対する意欲がわいた。」といった感想をいただきました。



治田小学校での出前講座の様子



南伊勢高等学校での出前講座の様子

2022年「あなたが選ぶ!三重県議会の活動ベスト10」投票開始のお知らせ

県議会では、議会活動について広く関心を持っていただけるよう、1年間の主な活動をふり返る「あなたが選ぶ!三重県議会の活動ベスト10」を、県民の皆さまや県議会議員からの投票により選定し、12月末に発表します。

候補の中から、これは!と思うものを県議会ホームページから投票してください。

※投票期間は令和4年11月10日(木)～12月9日(金)です。



投票候補(抜粋)

- 議員提出条例として「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」を可決(不当な差別等の禁止を明記し、その解消のための体制や施策を規定)(5月)
- オンラインを活用した会議の試行を開始(オンライン会議のノウハウの蓄積に向けて)(5月)
- 第4回「みえ高校生県議会」を開催(8校26名の高校生が参加)(8月)

この他にも複数の候補を提示しています。詳細は県議会ホームページでご確認ください。